

近組 2024-005 号

2024 年 2 月 6 日

学校法人 近畿大学
理事長 世耕 弘成 殿

近畿大学教職員組合
執行委員長 光永 靖

団体交渉要求書

近畿大学教職員組合（以下、本組合）は、学校法人近畿大学（以下、貴法人）に対し、第1次・第2次包括協定で継続協議事項となっているすべての事案について、その進捗状況を、根拠資料を提示の上で示すよう要求する。

貴法人は、上記協定で継続協議として解決を約束した事項について、大部分がゼロ回答という不誠実な対応をし、かつ、「労使間での認識の相違」という弁明により、不誠実対応を正当化しようとしている。第1次包括協定締結では、継続協議事項を「全て解決するよう努める」という前提のもと、本組合は複数の府労委闘争を取り下げている。にもかかわらず、このような対応をすることは不誠実団交そのものであり、不当労働行為に該当する。

貴法人が誠実に継続協議事項について検討しているというのであれば、進捗状況を詳細に説明し、対応できない事項についてはその根拠となる資料を示すことができるはずである。停滞している団交議事録に代わるものとして、進捗状況・根拠資料の一覧を作成し、本組合に示すよう求める。

2月20日の団体交渉の際に回答せよ。

以上